

PRIMERGY BX920 S1 サーバブレード ご使用上の注意

このたびは、弊社の製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。本製品に添付されておりますマニュアル類の内容に追加および訂正事項がございましたので、ここに謹んでお詫び申し上げますとともに、マニュアルをご覧になる場合に下記に示します内容を合わせてお読みくださるようお願いいたします。

2009年7月
富士通株式会社

1. PRIMERGY BX920 S1 サーバブレードに関する留意・注意事項

■ システム ID カードへの重要情報の貼り付けについて

システム ID カードには装置固有の「型名および製造番号」が記載されておりますが、保守交換作業時に交換される場合があるため、固定資産票など、お客様情報を含む重要情報を貼り付けないでください。

■ PRIMERGY BX920 S1 サーバブレードに関する注意事項について

本書に記載されていないその他の留意・注意事項については、「PRIMERGY」ページの「ブレードサーバ」(<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/blade/>)をご覧ください。

2. 『PRIMERGY BX920 S1 サーバブレード ユーザーズガイド』B7FH-6131-01 への訂正事項

訂正 3.2.4 Main メニュー (関連ページ: P. 63)

太字下線部が訂正箇所です。

誤)

項目	設定値	説明
Sync RTC with Mgmt, Blade	・ Disabled ・ Enabled <u>(ご購入時)</u>	マネジメントブレードとサーバブレードの時刻を同期させる機能の設定です。

正)

項目	設定値	説明
Sync RTC with Mgmt, Blade	・ Disabled <u>(ご購入時)</u> [注1] ・ Enabled	マネジメントブレードとサーバブレードの時刻を同期させる機能の設定です。

注1: Linux を導入した場合、ご購入時設定の「Disabled」を変更しないでください。

訂正 3.2.9 Advanced Memory Options メニュー (関連ページ: P. 70)

太字下線部が訂正箇所です。

誤)

項目	設定値	説明
NUMA Optimization	Enabled <u>(設定変更禁止)</u>	CPUを2個搭載したときのNUMA (Non-Uniform Memory Access) の最適化を有効にするかどうかの設定です。 CPUを2個搭載した場合に表示されます。

正)

項目	設定値	説明
NUMA Optimization	・ Disabled ・ Enabled <u>(ご購入時)</u>	CPUを2個搭載したときのNUMA (Non-Uniform Memory Access) の最適化を有効にするかどうかの設定です。 CPUを2個搭載した場合に表示されます。

訂正 A 本体仕様 (関連ページ: P. 137)

太字下線部が訂正箇所です。

誤) 項目 : 外形寸法

機能・仕様 : W45 × **D500** × H210mm (BX900 シャーシ 1 スロット占有)

- 正) 項目 : 外形寸法
機能・仕様 : W45 × D493 × H210mm (BX900 S1シャーシ 1 スロット占有)

3. 『ソフトウェアガイド』 B7FH-6161-01 への更新事項

訂正 2.3.2 SVIM のご使用にあたって (関連ページ : P. 32)

太字下線部が訂正箇所です。

誤) ■ フロッピーディスクの用意

SVIM を使用して OS をインストールする場合、設定した情報をコンフィグレーションファイルとして**フロッピーディスクに保存できます**。保存したコンフィグレーションファイルは、「2.2.2 再インストールする場合」(→ P. 27) や、「2.2.3 2 回目以降にインストールする場合」(→ P. 29) で、利用できます。コンフィグレーションファイルをフロッピーディスクに保存する場合は、フォーマット済みのフロッピーディスクを 1 枚用意してください。

正) ■ フロッピーディスク/USB メモリの用意

SVIM を使用して OS をインストールする場合、設定した情報をコンフィグレーションファイルとして**フロッピーディスク、USB メモリに保存できます**。保存したコンフィグレーションファイルは、「2.2.2 再インストールする場合」(→ P. 27) や、「2.2.3 2 回目以降にインストールする場合」(→ P. 29) で、利用できます。コンフィグレーションファイルをフロッピーディスクに保存する場合は、フォーマット済みのフロッピーディスクを 1 枚用意してください。

重要

Windows Server 2008 (32-bit) をインストールする場合、あらかじめ BIOS の Boot メニューにて USB メモリデバイスを外す必要があります。

変更を行わない場合、自動インストールが途中で止まってしまいます。必ず変更してください。Windows Server 2008 をインストール後は、設定を元に戻してください。

お使いのサーバで使用可能な USB フロッピーディスクドライブ、USB メモリについては、「PRIMERGY」ページの「システム構成図」(<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/system.html>) をご覧ください。

追記 3.3.3 PXE サーバの準備 (関連ページ : P. 61)

■ PXE サーバ/リモートリソースサーバの要件

以下の記述を追記します。

重要

V4.80 より古いバージョンの ServerView Operation Manager (ServerView Console を含む) がインストールされたサーバを PXE サーバとして利用できません。

訂正 3.3.3 PXE サーバの準備 (関連ページ : P. 69)

誤) TFTP のフォルダ (初期設定の場合 C:\Program Files\Fujitsu\DeploymentService\tftp) を選択します。

正) TFTP のフォルダ (初期設定の場合 C:\Program Files\Fujitsu\ServerView Suite\DeploymentService\tftp) を選択します。

追記 3.3.5 ターゲットサーバの準備 (関連ページ : P. 70)

以下の記述を追記します。

■ PRIMERGY SX940 S1 ストレージブレード上のハードディスクに OS をインストールする場合

PXE サーバを使ったリモートインストールで、PRIMERGY SX940 S1 ストレージブレード上のハードディスクへ OS をインストールする場合、あらかじめ、PRIMERGY SX940 S1 ストレージブレード上でアレイを構築した後、リモートインストールを行ってください。

アレイを構築していない状態で、PXE サーバを使ったリモートインストールは行えません。

以上